

ぐるっと250キロ 力作が勢ぞろい 新春書き初め展

真野

1月22日(土)～24日(月)の3日間にわたり、真野ふるさと会館で「新春書き初め展」が開催されました。

今年は小学生から中学生まで約380点と一般から60点の作品が展示されました。どれも良い出来の作品が多く、審査に当たられた先生方も、作品の選考には悩んだようでした。

会場には大勢の観客が訪れ、生徒たちの力強い作品やなめらかな筆使いに感動し、じっくりと鑑賞していました。



▲一般の部

▲児童生徒の部

ぐるっと250キロ 地域の交流の輪広がる!! 第1回二種目ナイターリーグ大会

畑野

1月12日(水)から3月2日(水)までの毎週水曜日に、畑野中学校体育館において二種目ナイターリーグ大会が開催されています(畑野地区公民館主催)。これは、ソフトバレーボールとラケットテニスの二種目でリーグ戦を行っていくものです。

寒さが厳しく、体を動かす機会の少ない冬場に、こうして地域の仲間と楽しく運動できるとあって、参加者からは好評のようです。



▶ソフトバレー



▲本間啓介さん

冬は運動不足になりがちなので、みなさんと楽しく体を動かすことができうれしいです。毎週はりきって参加します!!



▲遠藤静香さん

こうした大会が開かれることによって、地区のみなさんと交流を深めることができます。これからも、このような機会があると嬉しいです。

ぐるっと250キロ ヨガ教室

金井

1月21日(金)、金井コミュニティセンターでヨガ教室が行われました。

講師は渡辺信弘先生。この日は教室の開講日で、女性14人、男性4人が参加しました。まず、渡辺先生は、冗談を交えながらの巧みなトークで受講生をリラックスさせ、笑い声の絶えないオリエンテーションから始まりました。次に息をはきながら体の「力」を抜くということを練習し、受講生は気持ちよさそうに取り組んでいました。



▲眠ってしまいそう



▲はい、力を抜いて

あまりに気持ちよすぎて眠ってしまいそうになりながら、いろいろなポーズに挑戦しました。受講生の感想は、「気持ちがいい。とてもリラックスできた。」「お腹がしまるような感じがする。体の芯から温かくなる。」とのことでした。ぜひ、皆さんも「ヨガ」でリフレッシュしてみませんか。

ぐるっと250キロ 立志元服式

新穂

1月11日(火)に新穂中学校3年生46人を対象に立志元服式が行われました。

武家の時代では、この年齢で元服、すなわち成人したとみなされ、一人前の大人になったお祝いに行った行事とされていて、義務教育を終了するこの時期に、自分の将来をもう一度考えてもらうきっかけになればという思いから開催されています。

全日本剣道連盟居合道部佐渡支部の土屋正之さんをはじめ、3人の方々により居合の演舞を披露していただきました。また、記念講演には佐渡テレビ解説委員の加藤広文さんをお迎えし、「ぼた餅のお茶漬け～若者の条件～」を演題に、「やってみなければわからない。若者は色々なことに挑戦し、失敗してもそれに学ぼう」という内容のお話をしていただきました。

色紙は、それぞれが将来の夢や希望を誓って書き記したものです。



ぐるっと250キロ

ぐるっと250キロ 第29回 赤泊正月マラソン大会

赤泊



▲3キロ・5キロコースのスタート

新年1月2日(日)に恒例の赤泊正月マラソン大会が開催され、今年は、小学生対象の2キロコースから3キロコース、5キロコースに市内各地から99名の参加があり盛り上がった大会となりました。家族で参加した方も多く、親子いっしょに



ゴールを目指し新春の赤泊路を力走しました。参加者は各コースとも全員が完走し、大晦日の雪が残ってはいたものの青空に恵まれた酉年の走り初めを楽しみました。

▲愛犬といっしょに正月マラソン

ぐるっと250キロ 佐和田中学校「百人一首大会」

佐和田

1月17日(月)、佐和田中学校で「百人一首大会」が開催されました。体育館に全校生徒が集まり、各学年クラス対抗で取った札の枚数を競い合いました。読み手には斉藤進さんをお招きし、流ちょうに歌を読み上げていました。生徒たちは札を真剣に探し、残り札が30枚くらいになると、1枚取るたびに拍手や歓声が起こりました。大会終了後の講評では、読み手の斉藤さんから「一首でも多く歌をおぼえてもらいたい。百人一首を暗唱できる生徒になってほしい」と激励の言葉が贈られました。

